

# しなのきプランⅡ (令和6年度～令和8年度)

～全ての子どもたちの「自学自習の資質能力」の伸張～  
 < R7 > R8 ステップアップ版 >



「第三次長野市教育振興基本計画 (R4～R8)」に基づく「しなのきプランⅡ」の令和7年度 (二年度) の取組状況と、令和8年度 (三年度/最終年度) の方向を「ステップアップ版」として具体化しました。

## 長野市教育の基本理念

### 「明日を拓く深く豊かな人間性の実現」

長野市は市民の皆様とともに  
 広い視野から 思いやりの心を育み  
 自律心や豊かな情操 想像力を養い  
 自然と文化あふれる郷土に 誇りを抱き  
 明日を拓くための  
 深く豊かな人間性の実現を目指します

■長野市教育の基本理念のもとに策定された「第三次長野市教育振興基本計画」の学校分野における実施計画として推進します。

■予測困難な明日を担う子どもたちに育む「明日を切り拓く力」としての「**自学自習の資質能力**」の伸張を中核に据え、学校・家庭・地域社会との協働と分担により、全ての子どもたちの「自学自習の資質能力」の伸張を支援するための取組を推進します。

## 「自学自習の資質能力」について

【自学自習の資質能力】とは、

「自ら問いをもち、自ら学びを進め、共に育っていくための資質・能力」

※しなのきプランⅡで再定義



●新たな調査「しなのきFinder」を導入

大人は子ども理解

子どもは自己理解

子どもを観る

子どもの声を聴く

子どもと対話する

子どもと大人と一緒に考える安心感

●一人一人に適した環境づくりを推進

●非認知能力を意識した教育活動の工夫や授業改善を推進



長野市の学校教育について、Instagramで情報発信中!

## 【自学自習の資質能力】の観点と行動

2

3つの観点	9つの行動
未来に向かって 自分を高める 【みらい】	夢や目標に向かって継続して努力する（意欲・粘り強さ等）
	自信をもって行動し新しいことに挑戦する（自信・チャレンジ等）
	自ら問いをもち、自ら学びを進める（自学自習・計画性等）
他者を思いやり つながる 【きずな】	自分の考えを伝え、他者の考えを聴く（コミュニケーション力等）
	自分を受け入れ、他者を尊重する（自己受容・他者理解・共感性等）
	折り合いをつけながら、他者と協働して取り組む（協調性・折衝力等）
自分をよりよい 状態にする 【じりつ】	規範意識をもち、ルールやマナーを守る（規範意識・自制心等）
	自分の感情や行動をコントロールする（自己コントロール・楽観性等）
	経験から学び、前向きに取り組む（回復力・適応力等）

### 「しなのきプランⅡ」全体イメージ

目指す  
子どもの姿

自ら学び 共に育つ ～ウェルビーイングの実現～



### 子どもたちの【自学自習の資質能力】の伸張を支援

※【自学自習の資質能力】とは、「自ら問いをもち、自ら学びを進め、共に育っていくための資質・能力」



【子どもを観る】 【子どもの声を聴く】 【子どもと対話する】





未来プロジェクト

具体目標	子どもたちが主体的に取り組む探究的な学びを推進します。
	子どもたちの非認知能力を育むための取組を支援します。
	民間企業・地域・学校種間の連携・協働を推進します。

評価指標と目標

【未来プロジェクト】

みらい

じりつ

きずな

※R6 全国学力・学習状況調査の質問調査の質問項目の変更により、評価指標を見直した項目があります。  
 ※「☆」…評価指標の目標（令和8年度）に対して、現状の数値が上回っていることを表しています。

評価指標 ①	全国学力・学習状況調査 各教科の全国比				
校種/教科	現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)	
小学校	国語	99.7	100.4☆	100.3☆	全国比 100 以上
	算数	99.2	99.4	98.3	
	理科	101.1 (令和4年度)		101.6☆	
中学校	国語	99.9	99.8	101.3☆	
	数学	98.0	97.1	97.3	
	理科	103.4 (令和4年度)		102.0☆	
	英語	94.3			

R6年度未変更	「自学自習の資質能力」に関する質問5項目（平均）			
評価指標 ②	(1) 自分には、よいところがあると思う。 (2) 将来の夢や希望をもっている。 (3) 分からないことや詳しく知りたいことがあった時に自分で学び方を考え、工夫することができている。 (4) 地域や社会をよくするために何をすべきか考えている。 (5) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。 (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問の肯定的な回答の割合)			
	現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)
小学校	103.0	101.1☆	99.2	全国比 100 以上
中学校	97.6	99.8	97.7	

評価指標 ③	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う。 (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問の肯定的な回答の割合)			
	現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)
小学校	101.9	101.2☆	98.6	全国比 100 以上
中学校	98.4	99.0	99.2	

R6年度未変更	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。 (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問の肯定的な回答の割合)			
評価指標 ④	現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)
		94.1	92.5	全国比 100 以上
中学校		99.2	99.2	

※「☆」…評価指標の目標（令和8年度）に対して、現状の数値が上回っていることを表しています。

評価指標 ⑤	CEFRのAIレベル（英検3級程度）の中学3年生の割合 （英語教育実施状況調査、※GTEC）			
	現状 （令和5年度） 49.5% （GTEC:50.2%）	令和6年度 50.1% （GTEC:53.1%）	令和7年度 R8年5月公表 （GTEC:55.3%）	目標 （令和8年度） 60%以上 （GTEC:60%以上）

※GTEC…スコア型英語4技能検定（株）ベネッセコーポレーション

評価指標 ⑥	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の全国比 （全国体力・運動能力、運動習慣等調査）			
	現状 （令和5年度）	令和6年度	令和7年度	目標 （令和8年度）
小5男子	101.8	100.4☆	100.8☆	全国比100以上
小5女子	99.2	98.8	97.4	
中2男子	103.0	101.8☆	102.4☆	
中2女子	101.4	100.4☆	99.8	

評価指標 ⑦	授業以外の1週間の運動時間が60分以上の児童生徒の全国比 （全国体力・運動能力、運動習慣等調査の児童生徒質問）			
	現状 （令和5年度）	令和6年度	令和7年度	目標 （令和8年度）
小5男子	101.3	99.6	102.0☆	全国比100以上
小5女子	97.0	98.8	97.8	
中2男子	97.1	95.6	97.0	
中2女子	93.2	95.0	91.8	

評価指標 ⑧	運動やスポーツをすることが好きと答える児童生徒の全国比 （全国体力・運動能力、運動習慣等調査の児童生徒質問）			
	現状 （令和5年度）	令和6年度	令和7年度	目標 （令和8年度）
小5男子	102.3	102.0☆	102.0☆	全国比100以上
小5女子	102.0	102.0☆	107.4☆	
中2男子	100.2	99.8	100.9☆	
中2女子	99.0	97.1	97.3	

評価指標 ⑨	幼保園の保育参観、小学校の授業参観の実施			（学校経営概要）
	現状 （令和5年度）	令和6年度	令和7年度	目標 （令和8年度）
保育参観	54/54	53/53☆	52/52☆	全ての小学校で 実施
授業参観	51/54	52/53	50/52	



	主な取組	評価指標	令和7年度の取組状況	令和8年度の方向
1	「しなのき Finder」の推進	②③ ④⑩ ⑪	・小4～中3を対象に年間2回実施 ・しなのき通信や解説動画を作成・発行 ・児童生徒と教職員にアンケートを実施 ・Finderの結果では、自己肯定感、自信、挑戦、自制心・規範意識等の数値が向上	拡大 ・各校の校内研修で解説動画等の活用を促進 ・新たな研修メニューを用意し、各校の希望に応じた研修内容を提供
2	「自学自習の資質能力伸張シート」の活用	①② ③④	・研究主任会（2回）や各校の教職員研修（21回）で、効果的な活用法等を提案、授業改善を促進	継続
3	GTECの推進（スコア型英語4技能検定）	⑤	・GTEC研修会を3回実施 ・CBT活用研修会を3回実施	拡大 ・参集型研修会の充実 ・AI学習アプリの活用を研究
4	非認知能力を意識した研究指定校による実践研究	②③ ④⑫	・授業公開及び職員研修を22回、のべ344名参加、しなのきピアカフェ（教職員研修）を8回実施、のべ657名参加 ・しなのき通信の発行や、オンデマンド動画、共有フォルダで情報発信 ・行動指標の活用等、非認知能力を意識した取組が多くの学校で推進	拡大 ・研究指定校等に加え、市立小・中学校での授業公開や授業研究会等を拡大し、学校間連携を一層充実 ・実践事例集やオンライン研修、動画等により、実践成果を広く共有
5	非認知能力を意識した研究委員会による授業研究	②③ ④⑤ ⑥⑭	・7研究委員会で授業公開及び授業研究会14回実施 ・「市教育センター便り」4回、「研究紀要」及びオンデマンド動画を作成	拡大 ・非認知能力を視点とした実践研究を一層推進 ・委員会組織を見直し、新たに学校づくりを研究
6	探究的な学び×GIGAの推進	①② ③④ ⑤⑥	・指導主事によるICT端末に係る研修支援を、のべ23校で実施 ・民間企業と連携し、iPad体験会1回、Netモラル教材活用研修を2回実施。	継続
7	1人1台端末の有効活用の推進	②③ ④⑧	・情報主任研修会を5回実施し、ミライシードの活用研修を実施 ・民間企業と連携し、授業支援（195件）、研修支援（113件）を実施	拡大 ・1人1台端末を更新（23,970台/予備機を除く） ・次世代教育ネットワークを整備
8	キャリア教育支援懇談会の充実	②③ ④	・市キャリア教育支援懇談会を3回実施し、推進校でのアントレプレナーシップ教材を活用した探究学習を支援	継続
9	NSSP（ガノスーパーサイエンスプロジェクト）の推進	②③ ④⑫	・体験プログラム（全4回）、サイエンスキャンプ（1泊2日）、プログラミング講座（全4回）を実施 ・参加者の事後アンケートで「科学への興味・関心が高まった」の割合が97.0%	継続
10	「アスリートと楽しむスポーツ教室」の推進	⑥⑦ ⑧	・アスリートや有資格者等を市立小・中学校の186学級に派遣し、運動プログラムを提供 ・事後アンケート結果で「運動をもっとやりたいと感じた」参加者の割合が89%	継続
11	「幼保小接続期カリキュラム」の充実	⑨	・7支会毎に授業公開（4月～7月）と保育公開（10月～12月）を各1回実施	継続
12	「幼保小連携会議」による幼保小連携の充実	⑨	・幼保小連携会議を3回実施	継続
13	アントレプレナーシップ教育の推進	②③ ④	・市立2中学校でのアントレプレナーシップ教材を活用した探究学習を支援 ・市立2中学校では、しなのきfinder「コミュニケーション力」が7ポイント向上、「協調性・折衝力」が5ポイント向上	拡大 ・起業家と学校をつなぎ、探究的な学習を支援 ・企業と連携した探究的な学習を支援

アセスメントツールの活用を通じて、子どものよさや強みを可視化しつつ、子どもと教師等が対話をしたり、子ども同士が学び合う授業の工夫、企業や地域、多様な他者等との協働による教育活動の充実を推進したりしたことで、「自己肯定感」、「意欲」、「自信」等、未来に向かって自分を高めることにつながりました。 ※p13～p20「非認知能力の育成に資する取組について」を参照  
 今後は、探究的な学びや非認知能力の育成に資する取組を推進するため、キャリア教育や、一人一台端末を活用した学び等の更なる充実を図ります。





## R7>R8 ステップアップ

6

### 絆プロジェクト

具体目標	互いに認め合い多様な個性が活かされる教育を推進します。
	子どもたち一人一人の個に応じた支援を充実します。
	多様な学びの場における学習保障を充実します。

#### 評価指標と目標

#### 【絆プロジェクト】

きずな

じりつ みらい

※「☆」…評価指標の目標（令和8年度）に対して、現状の数値が上回っていることを表しています。

評価指標 ⑩	学校に行くのは楽しく、学校は安心できる場所になっている。 (学校評価 児童生徒アンケートの肯定的な回答の割合)			
現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)	
80.1%	85.2%☆	85.9%☆	現状を上回る	

評価指標 ⑪	お子さんは学校に行くことが楽しいと感じていると思いますか。 (学校評価 保護者アンケートの肯定的な回答の割合)			
現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)	
87.0%	85.1%	84.9%	現状を上回る	

評価指標 ⑫	個別の指導計画の作成を必要とする児童生徒のうち、実際に個別の指導計画が作成されている児童生徒の割合 (特別支援教育に関する体制整備状況等調査アンケート)			
現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)	
99.2%	98.4% (※市調査)	99.4%	100%	

評価指標 ⑬	個別の教育支援計画の作成を必要とする児童生徒のうち、実際に個別の教育支援計画が作成されている児童生徒の割合 (特別支援教育に関する体制整備状況等調査アンケート)			
現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)	
98.3%	91.6% (※市調査)	97.6%	100%	

評価指標 ⑭	地域の人々、高齢者や障がい者、外国人などとの対話や交流の機会を設定している。 (学校評価 教職員アンケートの肯定的な回答の割合)			
現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)	
82.3%	81.1%	83.2%☆	現状を上回る	

評価指標 ⑮	不登校児童のうち、学校内外の専門機関等で相談・指導等を受けていない児童生徒の割合 (児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査)			
	現状 (R4数値)	令和6年度 (R5数値)	令和7年度 (R6数値)	目標 (R7数値)
小学校	18.7% (全国 33.0%)	18.4%☆ (全国 36.3%)	15.9%☆ (全国 36.4%)	全国を下回る
中学校	28.8% (全国 37.9%)	17.0%☆ (全国 40.3%)	16.7%☆ (全国 39.6%)	

「主な取組」の令和7年度の取組状況と令和8年度の方向

	主な取組	評価指標	令和7年度の取組状況	令和8年度の方向
1	発達支持的生徒指導をベースとした授業改善の推進	⑩⑪ ⑫⑬ ⑳	・安心を実感できる環境で、他者と協働して学びを進める授業づくりを推進するため、市教育センター研修(3回)、校内職員研修(4回)を実施	継続
2	UD化と合理的配慮を視点にした授業づくりの推進	⑫⑬	・特別支援教育に関する職員研修を7校で、のべ9回実施 ・市教育センター研修で、UD化と合理的配慮を視点に実践例を情報提供	継続
3	パラスポーツや副学籍児童生徒との交流及び共同学習の推進	⑧⑭	・「わくわく!オリ・パラスポーツ」を32学級で実施 ・副学籍による交流及び共同学習の実践事例をしなのき通信で発信	継続
4	SaSaLANDを中核とした教育支援センター充実プランの推進	⑩⑪ ⑫⑬ ⑮	・教育支援センターとつながった児童生徒数が拡大(上半期の状況 R6:223人→R7:232人) ・マイクラフト等のオンライン活動を週3回実施、1日約7人が利用 ・保護者支援として、親の会を月1回、ペアレントトレーニングを5回開催	拡大 ・SaSaLANDの取組から見えてきた支援の在り方を研修等を通じて校内外教育支援センターに拡大 ・保護者の希望を基に、親の会の開催場所や時間等を見直し、保護者の参加を促進
5	フリースクール等民間施設団体との連携	⑮	・フリースクール等関係者と連携し、学校以外の居場所説明会「長野地域多様な学びフォーラム」を開催 参加者 R6:約60名→R7約100名	拡大 ・フォーラムの内容と周知方法の再検討による参加者の拡大
6	SSW等専門家を含めたチーム支援体制の構築	⑩⑪ ⑮	・市立小、中学校全校のスクリーニング会議にスクールソーシャルワーカーとアウトリーチスタッフを派遣して支援策を検討	拡大 ・全校へSSW、ORSを派遣し、不登校の子どもの状況に応じた支援体制の充実を支援
7	考え、議論する道徳教育の推進	⑩⑪ ⑳	・道徳授業研究を15校、道徳科研究委員会の公開授業及び授業研究会を7回、教職員研修を2講座で実施	継続
8	人権教育の視点からの授業づくりの推進	⑩⑪ ⑳	・市立全校を人権教育研究指定校とし、実践研究や職員研修等を実施 ・30校で指導主事が学校訪問支援	継続
9	特別支援教育に関する校内研修の充実	⑩⑪ ⑫⑬	・オンデマンド研修動画をポータルサイトに掲載、しなのき通信を発行	拡大 ・オンデマンド研修動画の更なる充実と利用を促進
10	一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実	⑫⑬	・子ども理解と適切な支援充実のため、市立2小学校で実践研究を試行 ・校内教育支援研修会で実践事例を発表し、各校における取組を支援	拡大 ・市立7小学校で、行動分析を視点に子ども理解と支援について校内研修会等を実施 ・市教育センター研修を実施
11	いじめ対応フローを活用した組織的な対応の推進	⑩⑪	・「いじめ対応フロー」や「早期対応のポイント」を市立小、中学校に配付し、資料を活用した取組を推進 ・職員研修用オンデマンド動画の作成	拡大 ・年度当初の職員研修用資料の活用促進を支援 ・各校の改訂いじめ防止基本方針に基づく対応の徹底
12	いじめ調査委員(外部人材)の派遣による支援	⑩⑪	・「長野市いじめ問題等調査員」を事案に応じて学校に派遣し、専門的立場からの相談・助言を実施	継続
13	不登校児童生徒アウトリーチ支援	⑩⑪ ⑫⑬ ⑮	・自宅で過ごすことが多い子どもを対象に、アウトリーチ支援を実施 R7上半期申し込み88件	継続

「つながる」をキーワードに、子どもが安心を実感できる居場所づくり等により、外部機関や学びの場等につながる子どもが増えました。また、多様な子どもがお互いを認め合い、受け入れ合う環境をつくるため、一人一人の個性や、願いに寄り添った支援等を通じて、「コミュニケーション力」や「協調性」等、他者を思いやりつながる力が育まれました。

※p13～p20「非認知能力の育成に資する取組について」を参照

今後は、子どもが安心を実感できる環境づくりを一層推進するため、いじめの未然防止と適切な初期対応、インクルーシブな教育、不登校の児童生徒への支援(校内教育支援センターの拡大を含む)等の充実を図ります。





## R7>R8 ステップアップ 安全・安心プロジェクト

8

具体目標	子どもファーストな環境づくりを推進します。
	自分の身を自ら守るための資質・能力の育成を支援します。
	命と健康を守るための学習環境を整備します。

### 評価指標と目標

### 【安全・安心プロジェクト】

じりつ

みらい きずな

※「☆」…評価指標の目標（令和8年度）に対して、現状の数値が上回っていることを表しています。

評価指標 ⑩ 【再掲】	学校に行くのは楽しく、学校は安心できる場所になっている。 (学校評価 児童生徒アンケートの肯定的な回答の割合)			
	現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)
	80.1%	85.2%☆	85.9%☆	現状を上回る
評価指標 ⑯	学校は地域の方とともに子どもたちの安全確保のための取組を行っている。 (学校評価 保護者アンケートの肯定的な回答の割合)			
	現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)
	80.4%	81.4%☆	93.2%☆	現状を上回る
評価指標 ⑰	子どもたちの健康管理や体力向上のための取組を行っている。 (学校評価 教職員アンケートの肯定的な回答の割合)			
	現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)
	92.3%	91.8%	92.4%☆	現状を上回る
評価指標 ⑱	学校は、子どもたちの健康管理や体力向上のための取組を行っている。 (学校評価 保護者アンケートの肯定的な回答の割合)			
	現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)
	78.2%	78.9%☆	79.4%☆	現状を上回る
評価指標 ⑲	健康三原則（運動、食事、休養及び睡眠）の大切さを、様々な場面で計画的に伝えようとしている学校の割合 (全国体力・運動能力、運動習慣等調査 学校質問)			
	現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)
小学校	107.2	92.8	96.4	全国比 100 以上
中学校	99.0	102.6☆	98.2	
評価指標 ⑳	道徳の授業を受けた達成感 (学校評価 児童生徒アンケートの肯定的な回答の割合)			
	現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)
小学校	86.0%	85.2%	82.6%	現状を上回る
中学校	80.8%	83.3%☆	83.9%☆	

「主な取組」の令和7年度の取組状況と令和8年度の方向

	主な取組	評価指標	令和7年度の取組状況	令和8年度の方向
1	「長野市子ども議会」の実施	⑩⑪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が、プレゼンテーションアプリを用いて長野市等について考えたこと等を提案（12組）し、理事者が答弁</li> <li>・令和6年度の児童生徒の提案のうち、4件が実現</li> </ul>	継続
2	学習チューター事業の実施	⑩⑪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信州大学（教育学部、工学部）、清泉大学の学生が市立小・中・高等学校の希望する教育活動に対して支援</li> </ul>	継続
3	ランチミーティング等による意見交換の実施	⑩⑪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長が市立4小学校を訪問し、今後の長野市やより良い学校環境について意見交換を実施</li> <li>・市関係課と連携し、児童の一部意見を市の施策検討に反映し、実現</li> </ul>	継続
4	自ら判断し、正しく行動するための情報モラル教育の推進	⑳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「年間指導計画」を市立全小、中学校が作成し、情報モラル教育を推進</li> <li>・指導主事や専門家が児童生徒を対象に情報モラル教育講演会を3回、研修講座を1講座実施</li> </ul>	継続
5	「長野市版 新しい水泳学習」の推進	⑰⑱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立小・中学校19校で、校外の屋内プール施設での水泳学習を実施</li> <li>・事後アンケート調査では、「安全・安心」の質問項目で、児童生徒及び保護者の9割が肯定的な回答</li> </ul>	拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに小学校4校を加え、22校で校外の屋内プール施設での水泳学習を実施</li> </ul>
6	外部機関等との連携による健康教育の充実	⑰⑱ ⑲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市学校栄養士会と連携し、食育ポスターを年3回作成、発行</li> </ul>	継続
7	現代的な健康課題を踏まえた各校の実践的な取組への支援の充実	⑰⑱ ⑲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大塚製薬と連携し、熱中症標語コンテストを実施、市立小・中学校からの応募数が約500点、健康教育が充実</li> </ul>	継続
8	実践的な安全防災教育の推進	⑩⑱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルや連携体制を見直し、災害から身を守るための備えを考える機会を創出</li> <li>・市立小・中学校の取組のうち、好事例を共有</li> </ul>	継続
9	学校施設の老朽化対策・長寿命化対策の実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化改修工事【大規模】3校、予防保全工事【中規模】4校で実施</li> </ul>	拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化改修工事【大規模】1校、予防保全工事【中規模】8校で実施</li> </ul>
10	今に合わせた学校安全計画や危機管理マニュアルの見直し	⑩⑱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全計画や危機管理マニュアルの見直しを適時適切に行い、万が一の際に対応できるよう校長会等で周知</li> </ul>	継続
11	「安全・安心メール」を活用した防災・減災の取組を実施	⑩⑱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危害獣の目撃情報や夏休み前の水難事故防止、自転車の罰則強化等適切に学校や保護者への注意喚起を実施</li> </ul>	継続

子どもたちの意見表明や対話の機会を充実したり、子どもたちが心身ともに健康で過ごし、自分の命を自分で守る力を育成したりする等を通じて、「自制心」、「規範意識」、「忍耐力」、「適応力」等、自分をよりよい状態にする力が育まれ、「学校が楽しい」、「学校が安心できる場所」と考える子どもが増えました。※p13～p20「非認知能力の育成に資する取組について」を参照  
 今後は、現代的な社会課題等に適応したり、自ら判断し、正しく行動したりできる資質・能力を育むため、情報モラル教育、安全防災教育、子どもたちの意見表明や対話の機会等の更なる充実を図ります。



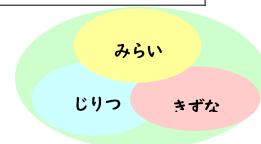


充実プロジェクト

具体目標	「学びたい！」が学べる教職員研修を充実します。
	先生たちのウェルビーイングの実現を支援します。
	学校や先生たちを指導主事が手厚くサポートします。

評価指標と目標

【充実プロジェクト】



※R6 全国学力・学習状況調査の質問調査の質問項目の変更により、評価指標を見直した項目があります。

※「☆」…評価指標の目標（令和8年度）に対して、現状の数値が上回っていることを表しています。

R6年度未変更		全国学力・学習状況調査 学校質問の5項目※に対する肯定的な回答の割合			
評価指標 ②	※ 評価指標②の5項目と対応した学校質問紙の設問を抽出し、測定。				
	(1) 担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしている。 (2) 児童生徒は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っている。 (3) 総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導を行っている。 (4) 学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童生徒が意思決定できるような指導を行っている。 (5) 学習指導において、児童生徒がそれぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫している。				
	項目	現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)
小学校	(1) 個に応じた指導・支援の充実		100.4☆	100.4☆	全国比 100 以上
	(2) 個別最適な学びの視点からの授業改善		86.4	105.0☆	
	(3) 探究の過程を意識した指導	91.9	100.4☆	93.3	
	(4) 学級全員で取り組む課題やテーマを自ら意思決定	97.3	103.5☆	102.6☆	
	(5) 協働的な学びの視点からの授業改善		101.7☆	96.9	
中学校	(1) 個に応じた指導・支援の充実		100.4☆	100.8☆	全国比 100 以上
	(2) 個別最適な学びの視点からの授業改善		86.3	122.8☆	
	(3) 探究の過程を意識した指導	99.5	88.4	104.5☆	
	(4) 学級全員で取り組む課題やテーマを自ら意思設定	91.1	103.9☆	98.6	
	(5) 協働的な学びの視点からの授業改善		101.9☆	100.6☆	

評価指標 ②	「研修講座で学んだことを自校の教育活動に生かしたい」と回答した割合 (市教育センター 教職員研修講座アンケート 肯定的回答の割合)			
	現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)
	99.6%	99.2%	99.2%	100%

評価指標 ③	1か月あたりの時間外勤務時間の平均【小・中学校】 (教職員の勤務時間等調査)			
	現状 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	目標 (令和8年度)
4～7月	47時間59分	48時間00分	43時間32分☆	45時間を 下回る
年間	45時間29分 (R5.4月～R6.3月)	39時間21分☆ (R6.4月～R7.3月)	37時間39分☆ (R7.4月～R7.12月)	

## 「主な取組」の令和7年度の取組状況と令和8年度の方向

	主な取組	評価指標	令和7年度の取組状況	令和8年度の方向
1	ニーズに応じた多様で質の高い教職員研修講座の構築	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修講座を117講座開設</li> <li>時期や研修内容、研修形態等を工夫し、参加しやすい環境を整備</li> <li>グループ討議、情報交換等を通じた実践的な研修を実施</li> </ul>	継続
2	キャリアステージに応じた教職員の経年研修講座の充実	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアステージに基づく「教師力向上研修」で、「しなのきプランⅡ〈非認知能力〉」演習を導入</li> <li>研修受講者の主体的な参加を促す、講義・演習型研修の実施</li> </ul>	継続
3	専門性と指導力向上に向けた重点研修講座	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の教育課題やしなのきプランⅡに関わる重点講座を32講座開設</li> <li>しなのきプランⅡや研究委員会の授業実践等の内容を研修講座に反映</li> </ul>	継続
4	「自ら学び 共に育つ」学校づくり事業の推進	②③④ ⑧⑩⑪ ⑫	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究指定校や希望する学校を「ピア・チャレ!スクール」に位置づけ、授業公開や専門家による講演会等を年間19回実施、のべ283名が参加、学校同士がつながり、「非認知能力」を視点に学び合う機会を支援</li> </ul>	拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>本事業の最終年度のため、研究指定校等、「ピア・チャレ!」実践校の成果を、オンライン研修会や事例集等で発信</li> </ul>
5	「自学自習の資質能力」の伸張を中核とした研究委員会の充実	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業公開を14回実施、のべ372名が参観</li> <li>長野上水内教育会との共同研究を継続、研究成果の共有及び活用</li> </ul>	継続
6	「NSSP」(ガノスーパーサイエンスプロジェクト)教師の力量向上プログラムの推進	①② ③④ ⑫	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科教材委員会を4回開催、市教育センター研修講座や信州理研等で、実践発表等の発表、県外視察の実施</li> <li>生成AI教材委員会で授業視察(2回)、研修会(2回)を実施</li> </ul>	拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>情報活用能力ベースプランの更新に向けた実践研究の実施</li> <li>研究委員による研究成果や好事例の発信</li> </ul>
7	「学校における働き方改革推進のための基本方針」の更新&実施	⑬	<ul style="list-style-type: none"> <li>市立全中学校に採点支援システムを導入</li> <li>各校の取組や教職員の働きがいの現状等をアンケートで把握、結果を各校に周知するとともに、市教委の来年度の取組の見直しを検討</li> </ul>	継続
8	外部人材の派遣や関係機関との連携による業務の適正化を推進	⑬	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門家、学校関係者、市PTA連合会等から助言を受け、業務適正化の検討を推進し、次年度の取組等を提案</li> </ul>	継続
9	学校における授業改善をサポートする対話型訪問支援の充実	②③ ④⑫ ⑫⑬	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導主事研修会(5回)を通して対話型訪問の基本方針を模索</li> <li>年度当初の派遣(109件)、しなのき派遣(88件)の要請を受け、教師×教師、教師×指導主事のクロストークにより授業改善を支援</li> </ul>	継続
10	学校の諸課題を支援する「さっと学援隊」による訪問支援の充実	⑩⑪ ⑫⑬	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化、複雑化している課題に対し、学校に寄り添いながら、迅速かつ適切な訪問支援を実施</li> </ul>	継続
11	多様なニーズに臨機応変に対応する「しなのき派遣」の充実	⑫⑬	<ul style="list-style-type: none"> <li>支会研修会や校内研修会等に指導主事が訪問し、ウェルビーイングや非認知能力を視点に、子どもとのよりよい対話の仕方等について研修を実施</li> </ul>	継続

教職員がやりがいを感じる環境づくりと、対話と共創による力量向上に取り組む仕組みづくりを推進するとともに、学校のチャレンジを支える学校訪問支援を実施すること等を通じて、「学び続ける教職員」として、自らの力量向上への意識が高まり、日々の授業改善につながりました。

今後は、教職員のウェルビーイングの実現のため、教職員による次期プラン構想、学校における働き方改革、指導主事による対話型学校訪問支援等の更なる充実を図ります。



非認知能力の育成に  
チャレンジ!

令和8年度

自学自習の資質能力の伸張に  
チャレンジ!

# しなのきプランII

三年次（最終年度）

ステップアップ版  
主な事業・取組



長野市教育委員会は、市立小・中学校のチャレンジを後押しします！

## 未来プロジェクト



### 1 「しなのきFinder」の推進

- 「しなのきFinder」を活用した取組を支援
- 「非認知能力」の育成に資する取組を支援
  - ・ピアカフェ、ピア・チャレ！スクールの実施
  - ・非認知能力の育成に係る実践事例集の発信

### 2 「アントレプレナーシップ教育」の推進

- 起業家や企業等と学校が連携した探究的な学習を支援

### 3 1人1台端末の有効活用の推進

- 1人1台端末（タブレット端末）の更新
- 次世代教育ネットワークの整備

## 充実プロジェクト



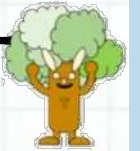
### 4 「自ら学び 共に育つ」学校づくり事業の推進

- 「しなのきFinder」を活用した取組を支援
- 「非認知能力」の育成に資する取組を支援
  - ・ピアカフェ、ピア・チャレ！スクールの実施
  - ・専門家による出前講座、職員研修の実施

### 5 「NSSP（ガノスパーサイエンスプロジェクト）」教師の力量向上プログラムの推進

- 生成AIの利活用を研究、情報発信
- 情報活用能力ベースプランの実践研究

## 絆プロジェクト



### 6 教育支援センター充実プランの推進

- 「つながる」をキーワードにした不登校児童生徒支援策の推進
  - ・校内教育支援センターにおける支援の拡大
  - ・アウトリーチ支援「つながるサポート」の充実

### 7 インクルーシブな学校づくり推進事業の推進

- 行動分析を視点とした支援を基盤に、チーム支援体制を構築

### 8 いじめの組織的な対応の推進

- いじめ防止研修パッケージの活用促進を支援
- 【改訂】いじめ防止基本方針に基づく対応

## 安全・安心プロジェクト

### 9 「長野市版 新しい水泳学習」の推進

- 「命を守る／健康の保持増進／余暇を楽しむ」を目的とした水泳学習の更なる充実
  - ・新たに市立4小学校を加え、22校で実施

### 10 現代的な健康課題を踏まえた健康教育の充実

- 「健康三原則」「運動時間」等に係る取組を推進



## I 「しなのきプランⅡ」の基本的な考え方

社会状況の多様化・複雑化が進み、予測困難な時代の中、子どもが受動的に授業を受ける教育から、自ら問いをもち、自ら学びを進め、共に育っていくための資質・能力(自学自習の資質能力)を育む教育への転換が求められています。そこで、「しなのきプランⅡ」では、非認知能力を意識した教育活動の工夫や授業改善を推進し、全ての子どもたちの「自学自習の資質能力」の伸張に向けた取組を推進します。



## II 長野市教育委員会の主な取組

### 1 研修会等

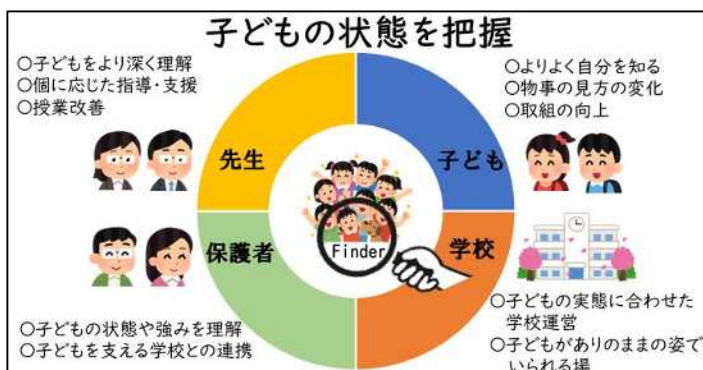
- (1)長野市教育センター研修
  - ・教頭マネジメント研修・校長マネジメント研修(講師:信州大学 高橋史准教授 茅野理恵 准教授)
  - ・非認知能力を育むためのクロストーク①(講師:信州大学 高橋史 准教授 三和秀平 准教授)
- (2)学校教育課主催研修
  - ・「自ら学び共に育つ」学校づくり事業①(講師:早稲田大学 河村茂雄 教授)
  - ・「自ら学び共に育つ」学校づくり事業②(講師:IPU環太平洋大学 中山芳一 特命教授)
  - ・研究指定校における授業公開・授業研究会(6回)
  - ・「子どもの非認知能力の育む方」講演会(講師:筑波大学 櫻井茂男 名誉教授)
  - ・しなのきピアカフェ(年間8回)

### 2 学校訪問支援等

- ・しなのきプランⅡに関わる指導主事による学校訪問支援の実施(43校)
- ・参観日を活用した、指導主事による「しなのきプランⅡ」の概要説明を保護者向けに実施(1校)
- ・信州大学高橋史准教授を講師とした研修の実施(8校)
- ・IPU環太平洋大学中山芳一 特命教授を講師とした児童向けの出前講座の実施(12校)

※令和8年2月13日現在

### 3 しなのきFinderの実施(年間2回)



【しなのきFinderの目的】

**個別レポート Personal Report**

あなたのウェルビーイングとスキルについて

9つのウェルビーイング

項目	スコア	傾向
1. 自信	85	安定
2. 意欲	80	安定
3. 粘り強さ	85	安定
4. 協調性	80	安定
5. 折衝力	85	安定
6. 規範意識	80	安定
7. 自制心	85	安定
8. 自己管理能力	80	安定
9. 社会参加	85	安定

9つのスキル

項目	スコア	傾向
1. コミュニケーション	85	安定
2. 読解力	80	安定
3. 算数力	85	安定
4. 読書力	80	安定
5. 表現力	85	安定
6. 創造力	80	安定
7. 問題解決力	85	安定
8. 自己管理能力	80	安定
9. 社会参加	85	安定

スキルタイプ: コミュニケーター型

【子どもへ返却されるレポート】

1 実施概要

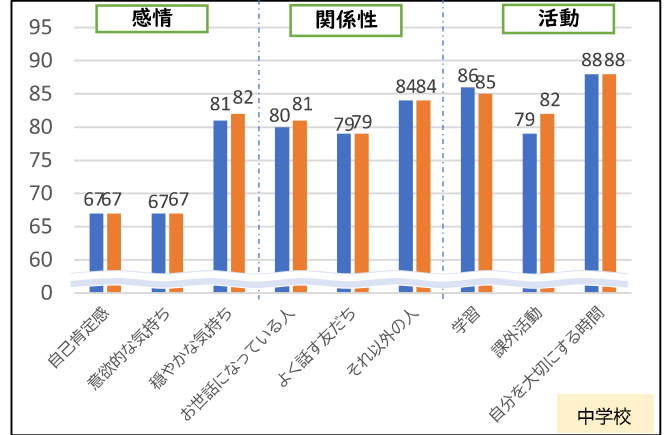
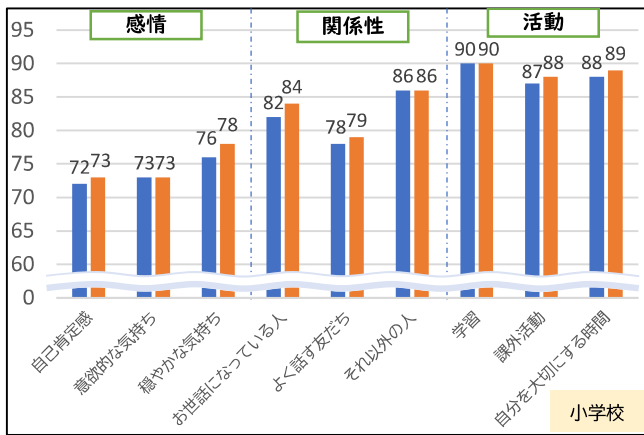
- (1) 実施時期 第1回 令和7年5月26日(月)～6月6日(金)  
第2回 令和7年11月4日(火)～11月17日(月)
- (2) 対象 小学校4年生～中学校3年生
- (3) 実施人数 第1回 小学生 8229名 中学生 7156名  
第2回 小学生 8118名 中学生 6993名

2 長野市の「しなのきFinder」の結果

■ 春 ■ 秋

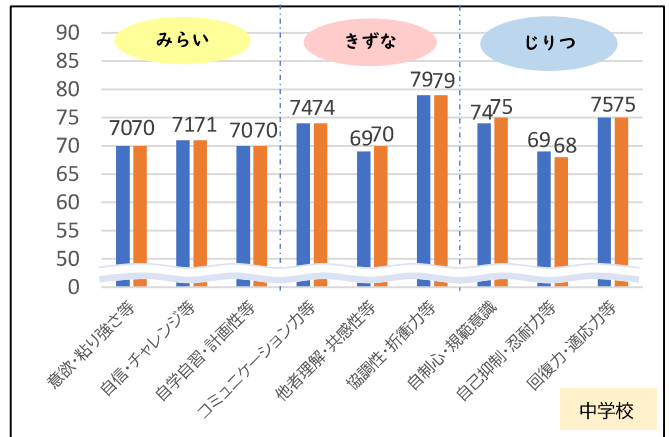
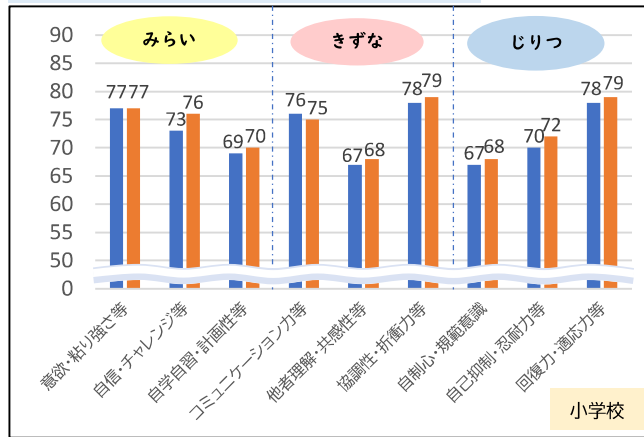
(1) 9つのウェルビーイング

※長野市全体の平均値



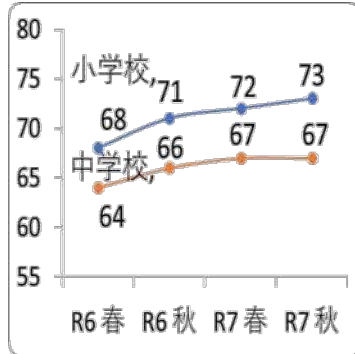
(2) 9つの非認知能力

※長野市全体の平均値

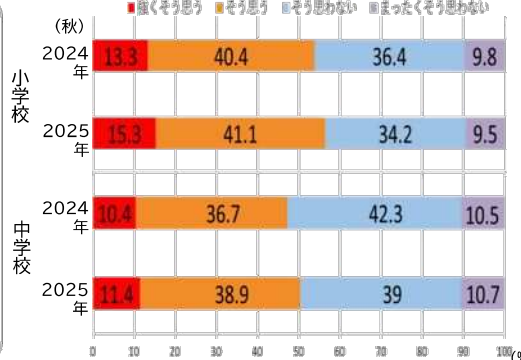


3 長野市全体の「自己肯定感」の推移

長野市全体の【自己肯定感】の推移



質問項目「私には長所があると感じている。」



【自己肯定感】と【学習(勉強はうまくいっている)】のクロス集計



考察

「しなのきFinder」の結果と合わせて教師や保護者が子どものよさや強みを伝えたり、子どもの願いをもとに自己選択・自己決定できる活動が増え、子ども自身のよさや強みを発揮できる環境づくりが進んだりしたことで、自己肯定感が高まったと考えられる。一方で、学業への困難さを感じている子どもほど、自己肯定感が低くなっていることから、子どもたちの学習の充実を図る必要がある。

**成果**

- 1. 自己肯定感の全体的な安定・向上**  
いずれの学年でも、自己肯定感は安定または上昇傾向が見られる。
- 2. 人間関係に関する困難の改善**  
人間関係に関する困難はR6からR7にかけて減少傾向にあり、学級経営や支援の成果が表れている可能性がある。
- 3. 思いやり・公共心の高さと安定**  
向社会的行動(思いやり)および公共心は高い水準で安定。互いの良さを認め合う風土が、市内学校の大きな教育的成果といえる。
- 4. 高度な学習方略の伸長**  
学年の進行に伴い、「重要なところはどこか考えて学習する」認知的方略や「理解状況を確認しながら学習する」メタ認知的方略についての肯定的な回答が増加している。

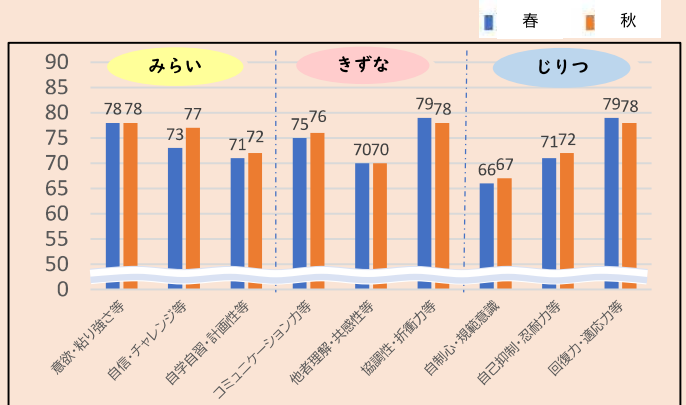
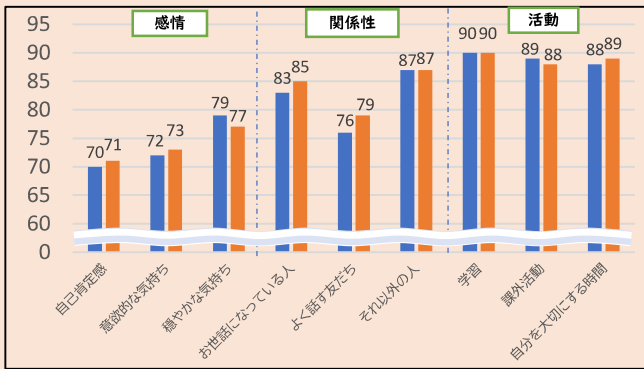
**課題**

- 1. 自己肯定感の格差拡大**  
著しく低い自己肯定感の児童生徒の割合が、学年進行とともに増加。早期発見と個別支援体制の強化が必要。
- 2. 学業に関する困難の増加**  
学業に関する困難は学年が上がるにつれて顕著に増加している。
- 3. 理科・数学への興味・有用感の低下**  
他教科と比較して、学年進行に伴う低下が著しい。学ぶ意義や生活・将来との関連を実感できる授業改善が求められる。
- 4. 学習の計画性の不足**  
暗記中心の学習方略は広く用いられているが、「計画を立てて学習する」などのプランニング面には課題が残る。

5 研究指定校等の結果と取組・変容

(1) A校の取組:しなのきFinderを分析し授業に活用したり、行動指標を子どもとの共通言語にする取組

A校の結果 ※平均値



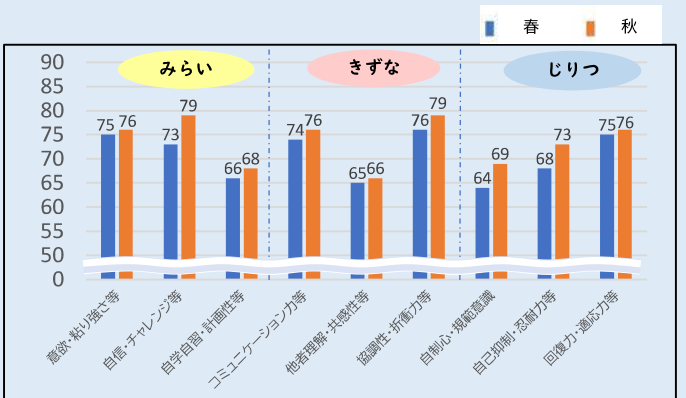
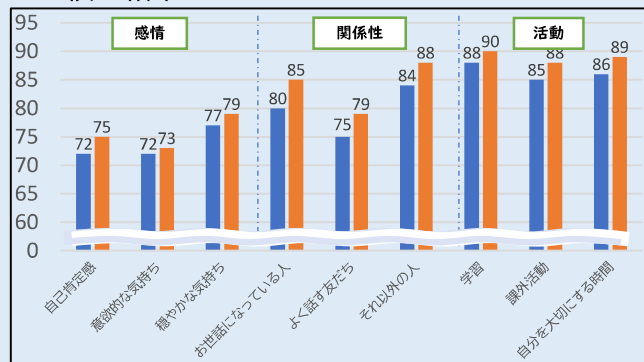
※チャックダウン：抽象的な目標を具体的な目標にすること

取組

- ★学校教育目標を※チャックダウンした「行動指標」を、子どもが主体となってキャラクター化
- ★「しなのきFinder」を分析・活用するために講師を招いて研修会を実施。結果レポートをもとにし、子どものよさをいかしたグループづくりを行い、授業を実践 等

(2) B校の取組:行動指標を教師と児童がともに校内に広げたり、表出してきた子どもの姿を還元させたりする取組

B校の結果 ※平均値



取組

- ★学校教育目標を※チャックダウンして「行動指標」を作成。教師と児童が行動指標を共有。児童集会を通して児童から全校へ紹介
- ★すべての学級において授業や行事で「行動指標」を視点にした「めあて」と「振り返り」を実施
- ★表出してきた児童の姿・行動を職員間や全校で共有・価値づけ 等

次年度へ

ピアカフェ、ピアチャレ！、事例集等を活用して、学校間の連携をより一層強化し、学校の「やってみよう」をサポートします。

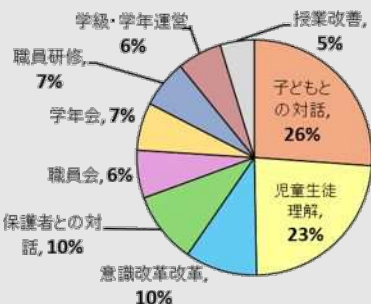
## 1 実施概要

- (1) 実施時期 令和7年12月2日(火)～12月24日(火)  
 (2) 対象 児童生徒(小学校4年生～中学校3年生)、教職員  
 (3) 実施人数 児童生徒 小学生 4925名 中学生 4474名  
 (しなのきFinder実施児童生徒15385人/約6割の児童生徒が回答)  
 教職員 518人  
 (小学校4年～中学校3年、特別支援学級数854人/約6割の教職員が回答)

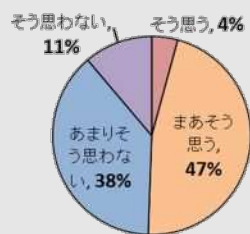
## 2 アンケート結果

## (1) 教職員アンケート

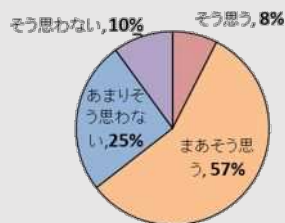
設問:しなのきFinderのレポート結果はどのような場面で活用しましたか。



設問:しなのきFinderは授業改善、授業づくりに役立ちましたか。



設問:しなのきFinderは子ども理解や子どもとの対話に役立ちましたか。



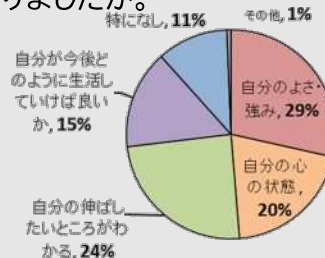
- しなのきFinderを子ども理解や子どもとの対話に活用している教職員が6割以上おり、職員会や学年会等で活用している例もありました。
- 「活用の仕方がわからない」「活用できない」等の声もありました。

## (2) 児童生徒アンケート

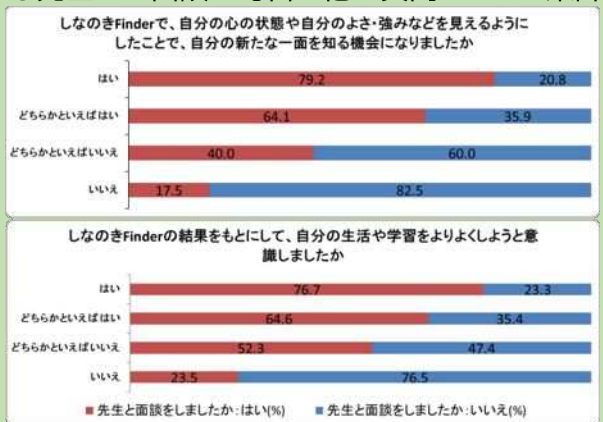
設問:しなのきFinderで自分の心の状態や自分のよさ・強みを見えるようにしたことで、自分の新たな一面を知る機会になりましたか。



設問:自分のことを振り返ったり先生と対話をしたりすることで、どのようなことがわかりましたか。



## ○先生との面談の可否と他の質問のクロス集計



- 回答した多くの児童生徒が自己理解につながったと感じています。
- 教師との面談を通して個別レポートを返却することで、子どもは自分のよさや強みを実感するとともに、今後の生活や学習の見通しを持つことができている。

①指導主事派遣により「しなのきFinder」の活用方法を研修

②教師は子どものよさや強みを把握

③教師は子どものよさや強み、今後の見通しを対話を通じて一緒に共有

④子どもは自身のよさや強みを活かす。教師は子どもとの関係性が向上



## 低学年でも実施できるアンケート調査を作成

「うんどうかい」の ひにんちメーター

3つの かんてん	9つの こうどう	1	2	3	4	5
みらい	もくひょうにむかって どりよくをつづける					
	あたらしいことにチャレンジする					
きずな	じぶんでかंगाえて じぶんでまなぶ					
	ともだちとかंगाえをつたえあう					
じりつ	じぶんやあいてをたいせつにする					
	ともだちときょうりょくしてとりくむ					
	ルールやマナーをまもる					
	じぶんのきもちを コントロールする					
	がっかりしても だちなふる					

### 実施内容

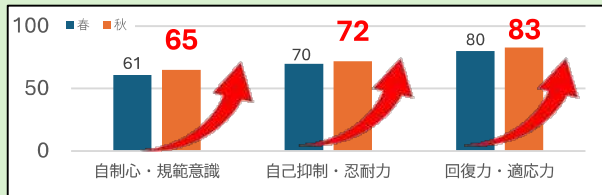
- 学校独自に分かりやすい言葉で「ひにんちメーター」を作成し、行事の前後等で全校で振り返りを実施



子どもの声

### 変容

「ひにんちメーター」をもとに担任の先生と話し、自分の気持ちを整理して、生活を前向きに取り組んでいます。



## 「やりたいこと」をやりたいだけやり切る個人探究



### 実施内容

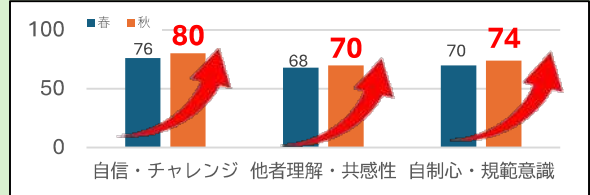
- 個人探究の時間(週2回)のなかで探究的な学びのサイクルを繰り返し、学期末に探究発表会を実施



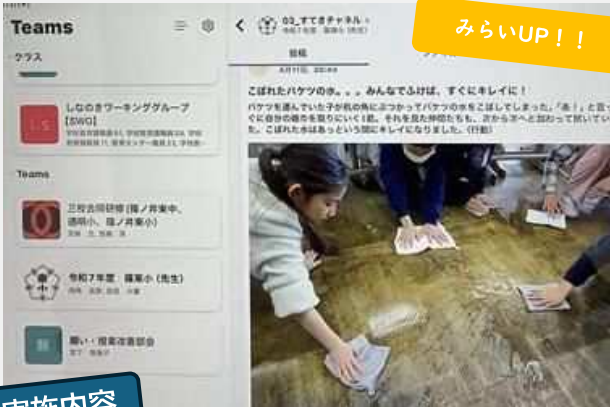
子どもの声

### 変容

新たな課題に挑戦することを繰り返すことで、自身の成長を実感することができています。



## 子どもの「ステキ」を子どもと教師で共有



みらいUP!!

### 実施内容

- Teamsを活用し、職員チームの「すてきチャンネル」で子どものステキな姿を共有・蓄積
- 子どものステキな姿を写真で生徒昇降口に掲示し、こどもと共有

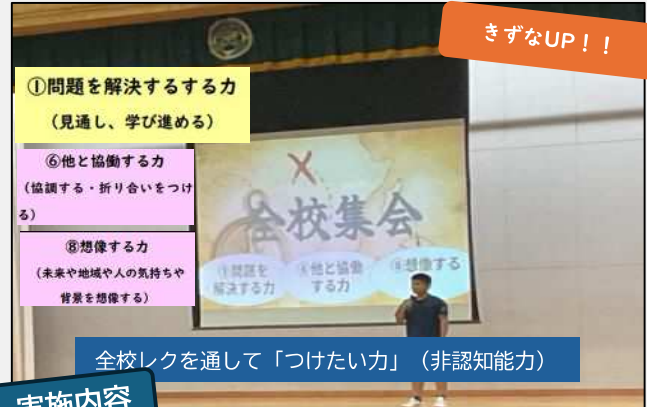


先生の声

### 変容

子どもの自己肯定感等が高まっているように感じています。また、自信をもって行動する姿やチャレンジする姿等が見られるようになってきました。

## 非認知能力を主体となって育む生徒会



きずなUP!!

### 実施内容

- 学校全体で「非認知能力」の育成を目指し、生徒会が主体となった全校レクリエーションの実施と、活動後に友だちと活動内容を振り返る取組を繰り返し実施



子どもの声

### 変容

校長先生と「目指したい学校の姿」について、話し合いを重ねたことで、教師と生徒が一体となって非認知能力を意識し、主体的に生徒会に取り組めるようになりました。

## 子どもがつくり上げる学校行事

### 取り組みの状況

じりつUP!!

#### 学校行事を通して...

語り合おう  
学校行事での素敵な子どもの姿



○学校行事での素敵な子どもの姿を語り合おう **子どもの素敵な姿**

春「運動会」 みんなとつながる 役割を果たす  
できる自分を実感  
何を大切にしたいの？  
行事では、子どもの成長の場として「認め合い」「振り返り」を大切にしたい！  
やってみよう  
秋の「西っ子ステージ」でやってみよう！  
【認め合い】  
◎姉妹学年で練習を見合ってみよう  
⇒練習過程も認め合えるように  
【振り返り】  
◇めあてとふりかえりセットのワークシート  
⇒自分の成長を実感できるように

全校が一つになった西っ子ステージに！

### 実施内容

- 子どもと「運動会」や「音楽会」などの学校行事への思いを共有し、教師と子どもが協働して内容を決定するとともに、異学年との交流を重視した取組実施

#### 変容



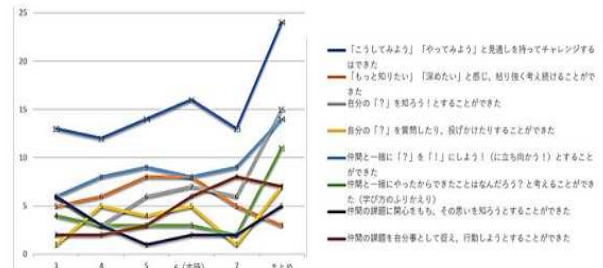
子どもの声

みんなが協力して1つのものを作り上げると素敵なものができることが分かりました。今後もみんなと協力して学校生活をより良いものにしたいです。

## 行動指標の振り返りから授業改善

みらいUP!!

### 保体 行動指標による自己評価の推移



### 実施内容

- 「行動指標」を単元を通して意識し、毎時間の自己評価を積み上げ、メタ認知につなげ、授業者は、自己の授業をデータで振り返り、授業改善につなげる

#### 変容



子どもの声

その日できなかったことを次回にはできるようにしようと意識しながら、繰り返し授業に取り組むようになりました。

## 地域学習を基盤としたキャリア教育

きずなUP!!



### 実施内容

- 「ふるさと」について考え、まとめ、発表してきたこれまでの学習を基盤に、地域企業と連携し、地域の魅力を発信することを目的とした新商品の開発・販売

#### 変容



子どもの声

自分のアイデアが商品になり、実際に販売できたことが嬉しかったです。友だちと協力して工夫する中で、挑戦する楽しさを学びました。

## 「しなのきFinder」から学級や子どものよさを分析

みらいUP!!

### 4. 「しなのきFinder」 どう見る？ どう活かす？

学級レポートの活用 非認知スキルの平均値に注目



### 実施内容

- 学級や個の特徴がより分かりやすくなるよう、「しなのきFinder」の結果をレーダーチャートとして可視化し、学級運営や授業改善につなげる

#### 変容



先生の声

授業では、レーダーチャートの凸凹を補えるグルーピングをしたことで、グループワークが活性化された姿がみられました。

## 支会が一体となって非認知能力の意識を統一



### 実施内容

- 支会が一体となって、「子どもへの接し方」や「しなのきFinderを通した子ども理解」の方法について学ぶ機会を設定し、中学校区内において小中学校が共通の視点で子どもを見取る力を育む研修

#### 変容



先生の声

同じ校区内で、共通した見取り方など確認することで、小中学校が連携した子ども支援ができると感じました。

## 「しなのきピア・チャレ」で互いの取組を学び合う



### 実施内容

- 自校の取組を公開して助言を得ることで成果や課題を客観的に捉え改善の方向性を明確にするとともに、参観者にとっても実践を参考に自校の取組の見直しや充実につなげる研修

#### 変容



先生の声

参観者からフィードバックと価値づけの言葉をいただくと同時に、全校がお互いの実践にさらに興味をもつきっかけとなりました。

## 同僚の教師の授業のよさを紹介し授業力を向上

1学期で学年の先生と授業を見合い、学年の先生の持ち味をポスターにまとめて発表

先生の授業より

- 子どもの「やりたい」に寄り添う
- 子どもと対話する
- 寄り添いの姿勢

先生方は何を大切にしている？

子どもの内側にあるものを引き出す教師の持ち味に惹かれ憧れる  
⇒授業では「やりたいことを主体的に実現できる楽しさ」を大切にしたい

やってみよう 自ら進んで公開授業 3つの公開授業ができた！

テーマごとに重点をパッケージ化  
8・9月「道徳月間」 10～12月「自由がある授業月間」  
子どもの「やりたい」を引き出す工夫を対話で共有

### 実施内容

- 非認知能力を意識した他学級の授業を参観し、そのよさを校内職員研修においてポスターセッション形式で共有し、授業改善につなげる研修

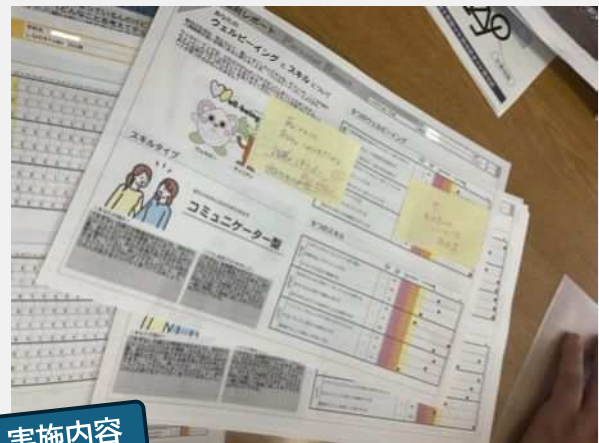
#### 変容



先生の声

自ら動く子を起点に教員の学びが繋がりと、教育観を共有できました。主体的な教師の姿が子どもにも好影響を与えていると感じています。

## 「しなのきFinder」をもとに子どもの背景を読み解く



### 実施内容

- 「しなのきFinder」の結果と教師の見取りとの「ズレ」から子どもの背景を読み解き、複数の教師で見合うことを通して子どもを多角的に捉え、声掛けや面談のヒントにつなげる研修

#### 変容



先生の声

子どもの背景を丁寧に読みとくことで、新たな発見や見取り方につなげることができました。面談前に実施することが、効果的だと感じています。

「しなのきFinder」をもとに子ども理解を深め、子どもの変容や支援の在り方を考えつづける

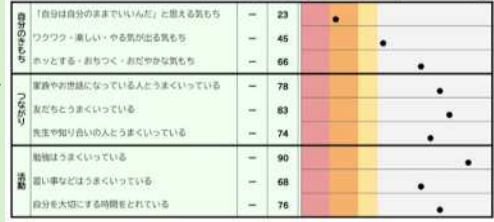
①US生について理解したいと思っていること



自己表現は少ないですが、冷静に周囲を見ながら落ち着いて生活ができています。夏休みの課題帳が破られ、取り組まずに提出されており、理由を聞きましたが具体的なことは口にしなかったことが気になっています。

US生の担任の先生の声

②第1回「しなのきFinder」US生の結果



④第2回「しなのきFinder」US生の結果



本人の思いを聞いたり、安心して過ごせる環境づくりを意識しました。総合的な学習の時間で外部講師の方に認められて自信をもって来たところはあると思います。

US生の話を聞いたり、活躍できる場をつくったりしてみたいです。

③校内研修会で語り合った内容



- ・結果を見ると、自分に自信がなく、家でも認めてもらえていないかもしれない。
- ・この子の目の前の姿を批判的に決めつけず、まずは共感する。
- ・他教科で見られた姿を共有し、独りよがりの子も理解にしない。

Ⅶ 令和8年度に向けた取組の提案と市教委の支援

提案1

単元を通して非認知能力の育成

1時間の授業の中だけでなく、単元を通して非認知能力を意識した授業を実践してみませんか。

➡単元を通した授業づくり支援します！

提案2

キャリア教育を通して非認知能力を育成

社会の中で自立して生きる子どもを育てるために、「新しいことに挑戦する力」等の非認知能力を高めてみませんか。

➡地域企業等の講師派遣を支援します！

提案3

子どものよさを伝える対話

しなのきFinderの結果や日頃の教師の子どもの見取りをもとに、子どものよさを対話を通して伝えてみませんか。

➡しなのきFinderの見方等の研修を支援します！

提案4

子どもの願いや意見を取り入れた教育活動

主体的な生徒会・児童会の活動や、子どもの意見を取り入れた授業や学校行事を通して、非認知能力を育ててみませんか。

➡他校の取組実践を紹介します！

提案5

他校と授業公開を通じた学び合い

互いの非認知能力育成の取組を、授業公開や学校公開を通して参観し合い、自校のよりよい取組へとつなげてみませんか。

➡ピア・チャレ！スクールを支援します！

しなのきFinderを活用した親子の対話



非認知能力の育成とウェルビーイングの実現



信州大学の茅野理恵教授から、保護者が非認知能力の重要性を理解し、日常生活の中で実践できる具体的な方法についてご紹介いただきました。教師にとっても参考になる内容ですので、ぜひご覧ください。



# しなのきFinderをみることで 子どもの新たな一面がわかる!?

第2回目しなのきFinderの個別レポートが返却されました。  
レポートはお子様自身のことについて尋ねた設問に対して回答した結果ですので、「評価」ではなく、「お子様の状態」を観るものです。

**9つのウェルビーイング**

項目	現在の結果	性別の結果	前回の結果※ / 性別の結果※
自分自身のままでいいんだと思える気持ち	48	22	
ワクワク・楽しい・やる気が出る気持ち	31	24	
ホッとする・おちつく・おだやかな気持ち	38	50	
家族やお世話になっている人とうまくいっている	21	28	
友だちとうまくいっている	36	40	
先生や知り合いの人とうまくいっている	63	66	
勉強はうまくいっている	29	22	
悪い事などはうまくいっている	49	68	
自分を大切にしている時間をとれている	65	97	

**9つのスキル**

項目	現在の結果	性別の結果	前回の結果※ / 性別の結果※
うまくいなくてもコツコツ取り組む	44	22	
自信を出してチャレンジする	32	46	
いろいろな方法で勉強する	42	42	
ほかの人とよく話す/こまっている人を助ける	22	84	
まわりの人の良さや強みに気づく	53	32	
まわりの人のことも自分のことも大切に	52	71	
イライラしてもじょうずに気持ちをきりかえる	20	28	
やるべきことに気持ちを集中させる	57	57	
勉強することの楽しさを見つけて	33	24	

ウェルビーイングやスキルで低い項目はお子様は上手くいっていないと感じている部分かもしれません。

「しなのきFinder」は子どもが自分の事についての質問に回答した結果(自己評価)です。



### スキルタイプ



### コミュニケーター型

まわりのみんなの力を引き出す

＜あなたの強み＞  
「きずな」の高さが特徴のあなたには、ほかの人と少しよばれる強さ(かんじょう)が特徴。まわりの人の良さを引き出して協力しながら取り組むときに、あなた自身の良さもかがやいてきます。「この人、良いなあ」「この人は実はこういうところがかんばつてなんだ」と、まわりの人の良さをさりげなく見つけてみましょう。

＜さらに成長するためのヒント＞  
「きずな」を発揮するだけで、「じりつ」もどんどん成長しています。あなたなどの大切な人のためなら、イラッとしたときにちょっと立ち止まってみたり、やそそくの時間をおくわないように早めに行動しやすくなります。だからと一緒に勉強して勉強に楽しさをプラスするのもしいですね。

スキルタイプには、本人の回答をもとに強みや今後の生活のポイントが載っています。子どもの一面をみる一つの例です。

日ごろのお子様の様子と比べて低い項目や比較的低い項目があれば、お子様に「何か心配なことがあるの?」等と聞いてみてください。

# しなのきFinderを活用して 子どもとどう対話する!?

## 信州大学

### 茅野 理恵 先生



信州大学学術研究院教育学系 教授  
専門は学校心理学 スクールカウンセラーや教育センター教育相談等として、子ども、教師、保護者の支援に従事

子どもの非認知能力を育む土台となるのは、大人の日常的な関わりによって築かれる『安心感』です。その鍵を握るのが、子ども自身が『自分は理解されている』と感じられること。  
しなのきFinderをきっかけに、子どもの言葉の裏にある思いや背景に耳を傾け、心のつながりを深めてみませんか。

しなのきFinderを活用した親子の対話  
非認知能力の育成とウェルビーイングの実現



上記の二次元コードで茅野先生(心理の専門家)からのアドバイスが聞かいただけます!



お問い合わせ先 しなのきFinder事務局  
一般社団法人青少年のための心理療法研究所  
shinanoki-finder@jicap.org  
長野市教育委員会事務局 学校教育課  
224-5081 (担当: 滝澤、中村広)

# FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

